

総務経済常任委員会視察報告概要

1 視察日時 令和8年5月22日（金） 午後3時から午後4時45分まで

2 視察先及び調査事項

視 察 先： 株式会社西武ライオンズ及びベルーナドーム

住 所： 埼玉県所沢市上山口2135番地

調査事項：「狭山丘陵の魅力づくりとボールパーク」

3 参加委員

委員長 大石 健一 副委員長 長谷川 礼奈

末吉 美帆子 中井 めぐみ 植竹 成年

青木 利幸 入沢 豊 石原 昂

4 視察の目的

所沢市では、既存・新規の観光拠点の整備・充実を図るとともに、狭山丘陵の魅力の発掘・向上を図り、市内各所ににぎわいのある場を創出することとしている。

そのため、既存の観光拠点であるボールパークについて調査、研究を行い、狭山丘陵の新たな魅力づくりについて、今後の委員会活動の参考とすべく視察を行った。

5 視察の概要

株式会社西武ライオンズビジネス開発部長赤岩氏より、ベルーナドームを中心としたボールパークの現地案内が行われた。

・ベルーナドーム

狭山丘陵の自然豊かな周辺環境と半ドームという特性を生かし、屋根の外側の広がりをも有効に活用することで、開放感に満ち溢れ、四季折々の風情が楽しめるボールパークを目指し、令和3年3月には大規模なドームエリアの改修工事が完了し、あらゆる人々が楽しめるボールパークに生まれ変わった。

球場内の座席も狭山丘陵や狭山茶の緑をイメージして設置されている。また、球場周辺にはこどもが安心して楽しめる空間があり、球場内では車椅子席がL'sテラスエリアや内野エリア、外野エリアにあるユニバーサルデッキなど、複数のエリアに設置されており、障害者の方もいろんな席を選ぶことができるなど、様々な方が楽しめる空間となっている。

一方で、ベルーナドームは半ドームとなっていることから、夏は暑くなる傾向にある。そこで、夏季の冷涼化対応としてベルーナドームに大規模なミスト設備を導入した。ドームの屋根のほか、観客席内の通路にあたるサブコンコースにも、内野席の一部をのぞき全エリアに、足元からのミスト噴射設備を設置、運用している。

また、ベルーナドームの1・3塁側メインコンコース入口付近の屋根に設置する複数

のノズルから水を噴出させるなど、見た目にも涼しさを体感できるほか、流れ落ちる水の下に自由に入ることができ、全身で“涼”を体感できるようにしている。

グリーンフォレスト デリ&カフェでは、試合がある日は、暑い日、寒い日に休める空間として利用できるようにしている。また、試合が開催していない日は予約が必要ではあるが、一般の方にも貸出ししており、宴会会場などにも活用されたりしている。

試合開催日には開場時間前は閑散としていたが、開場時間が近づくとつれて、ベルーナドーム周辺に屋台が出店され、多くの方が球場周辺に足を運び、活気に満ち溢れていた。

・ライオンズ整形外科クリニック

ベルーナドーム周辺にあり、選手だけではなく地域の方からトップアスリートまで幅広く医療を提供しており、スポーツによる健康増進と地域社会の健康寿命の延伸に貢献している。設備はAIによる高画質化技術を搭載したMRI装置を設置するなど、最新技術による医療提供をしている。

・旧ユネスコ村

旧ユネスコ村は試合が開催されている日は駐車場として活用されており、コンサートの開催時には物販会場として活用したりもしている。

旧ユネスコ村周辺及びベルーナドームから旧ユネスコ村への歩道は緑に囲まれ、狭山丘陵の自然を感じることができる一方、市街化調整区域となるため、当時の建物がいまだに残っており、建替えができない状況も見てとれる。

なお、本駐車場は試合やイベントが開催されていない時期は基本的には使用していない状況である。

6 質疑応答

質疑： 今夏に開催される「アオフェス 2026」は、所沢市においても大変ありがたい企画であるが、このように企画された経緯や趣旨を教えてください。また、所沢市に対しては、どのようなことを期待しているのか教えてください。

応答： 「アオフェス 2026」は、単なる球場・球団のお祭りの企画としてベルーナドームでの熱狂を呼ぶことにとどまらず、所沢市をはじめとした地域、西武線沿線を巻き込んで創り上げる新たな夏の大型イベントを目指している。

「ライオンズフェスティバルズ」を初めて開催した2016年から10年経った今年は、「夏の埼玉をライオンズの青に染める。」をコンセプトに、もう一段ステージをあげ、地域と共にさまざまな取組を推進していくことを考えている。

アオフェスの開催期間中、グループ企業である西武園ゆうえんちや沿線のプリンスホテルなどの従業員が「アオフェスユニフォーム 2026」を着用して業務にあたる予定である。

また、所沢市役所では職員約2,000人に、所沢市内の商店街では約100店舗の従業員の方にユニフォームを着用していただけるなど、所沢の街や西武線沿線を青く染め、盛り上げていただくことを期待している。

質疑： 道路問題等の交通事情は長年の課題かと思うが、これまでに何か所沢市に要望をしたことはあるのか。また、それら交通問題のほかにも、行政的な課題について要望をしたことはあるか。

応答： 株式会社西武ライオンズとして、また、ライオンズ球団として、所沢市に対して要望を出したことは無い。また、西武グループの他会社が要望等を出したかについては、把握していない。

質疑： ベルーナドームは、所沢市のほかに東京都東大和市とも隣接しているが、それら東京都や東大和市といった自治体に対して、何かしらの要望をしたことはあるのか。

応答： 所沢市と同様に、そちらに対しても特に要望を出したことは無い。

質疑： ライオンズ球団と所沢市との公民連携事業は、今後、更に充実させていくべきだと思う。例えば、所沢市の計画の中に位置づけていくことなど考えられるが、公民連携の取組について、所沢市から何か働きかけはあったのか。また、それに関して球団から要望されたことはあったのか。

応答： 所沢市側から要望をいただいたことや、反対に、ライオンズ球団側から要望したことはない。

質疑： 西武鉄道と JR 東日本との連携が発表されたが、例えば横浜市や千葉市などからの誘客活動など、現時点でのライオンズ球団としての考えを教えてください。

応答： 記者発表があったとおり、沿線観光地やイベントを目的地として観光列車の乗り入れを行うことや新秋津駅（JR 武蔵野線） - 秋津駅（西武池袋線）間の利便性向上などが図られる予定である。

これの副次的効果として、JR 武蔵野線沿線からベルーナドームへのアクセス性がよくなり、埼玉県東部地域のライオンズファンの利便性が向上することが考えられる。また、新幹線発着駅である大宮駅からのアクセスも相対的に向上することから、埼玉県内のファンだけではなく、県外のファンも増加することが予想される。

7 委員長所感

北海道北広島市は、北海道日本ハムファイターズと「北海道ボールパーク構想」を掲げ、エスコンフィールド北海道を核とした「F ビレッジ」と呼ばれるまちづくりを進め、ゲームが開催されない日においても多くの来場者を呼び込み、賑わいを呼んでいます。

所沢市においても、ライオンズの野球観戦が、市内年間観光客の多くを占めています。また、経済効果だけではなく、所沢市の名が全国に知られるようになったのは、ライオンズの存在であることは事実であります。更にシビックプライド醸成には、これほどのコンテンツはないものと思います。

現在、所沢市においては、第6次所沢市総合計画後期基本計画、第3期所沢市まち・ひ

と・しごと創生総合戦略、所沢市都市計画マスタープランにおいても、ボールパークについては、表記をされている。所沢市都市計画マスタープランにおいては、所沢市内に3ヶ所の交流エリアが、設定されているが、ところざわサクラタウン周辺の「COOL JAPAN FOREST 構想」、中心市街地の「所沢駅周辺まちづくり基本構想」があり、2つの「構想」に基づいて公民連携が進められてきています。

一方、西武球場前駅周辺の狭山丘陵には「構想」と呼ばれる計画が存在していません。全国に12球団しかないプロ野球チームが、これからも所沢市で活躍を続けていただけることが、所沢市にとって幸せなことであり、北海道北広島市での事例のように更なる賑わいを生み出すことは、狭山丘陵の魅力づくりにとっても必要なことです。そこで、例えば、「狭山丘陵ボールパーク」または、「武蔵野ボールパーク構想」を公民連携で掲げ、「狭山丘陵の魅力づくり」に取り組まれていくべきことが必要であり、所沢市産業振興ビジョンにも提案をしてまいりたいと感じました。

最後にライオンズ球団が所沢市に移転をしてから所沢市議会が、公式に訪問することは、これまで、なかなか実現をしてこなかったのですが、実現をしていただいた球団担当者の皆様に深く感謝を申し上げます。